

会員の ひろば

日本技術士会北海道本部 倫理委員会 相談役 今井淳一氏を偲ぶ

倫理委員会 委員一同

【相談役 今井淳一氏 に感謝を込めて】

我々 倫理委員会 委員一同は、気丈で貴い指導者を失いました。日本技術士会北海道本部 倫理委員会 今井淳一相談役が、令和 5 年 8 月 7 日にご逝去（享年 71 歳）されました。誠に残念であります。

今井淳一相談役は、本倫理委員会の第 3 代委員長（2015 年 7 月～ 2017 年 6 月）でもあり、それ以外にも日本技術士会北海道本部 幹事等の役員を歴任され、それらの多大なる功績より 2016 年に日本技術士会 会長表彰を授与されておられます。

倫理委員会の会議では、今井相談役は常に理性的で的確かつ冷静な意見を述べられており、委員全員は非常に真摯な印象を持っておりました。

体調がやや優れない状況であっても、携帯タイプの酸素吸入器を自ら持参し、幹事会などにも積極的にご参加し、指導して下さいました。



第 7 回 技術者倫理フォーラム (2016 年 5 月)
開会挨拶する今井相談役 (委員長当時)

自分には、今も忘れられない思い出があります。10 年以上前、小職が某大学 3 学年を対象に技術者倫理の非常勤講師を始めた頃の話です。

受講者が 80 名以上と非常に多く、学生の中には

アルバイトの疲れなのか居眠りや急ぎの別教科の宿題をしている数名も稀にありましたが、ご時世的に大声で注意する訳にもいかず、全 15 回の講義では全てに目が届かない事もありました。

そんな折の初段に、当時の今井委員長から唐突に授業状況確認のために、写真を撮りに行くと言われました。当日は講義開始前に「今日は日本技術士会北海道本部 倫理委員会委員長しかも皆さんの母校の先輩が受講状況を視察に来る」と述べると学生は緊張し、急に整然となったと記憶しています。

その際の訓示で、今井相談役は受講生に「技術者は工学の知識は大事だが、実社会では倫理観の堅持は更に重要である」という主旨の内容を述べて下さいました。それ以降の授業では、受講生も JABEE 一般社団法人日本技術者教育認定機構の倫理教育の重要性を十分に認識してくれたものと考えております。今も、今井相談役に深く感謝しております。大変ありがとうございました。

倫理委員会の懇親会は、メンバー車座のフランクなディスカッションです。いつも中心で、梅の入った焼酎のお湯割りを飲んで、ニッコリ笑っておられた今井相談役のお顔が思い浮かび、偲ばれます。

これまでの倫理委員会へのご尽力に、心より謝辞を申し上げます。

次項では、今井相談役の若い頃や職場でのエピソード等を同胞である 現三共コンサルタント 本間公康技術顧問に寄稿頂いたのでご紹介いたします。

（文責：現 第 5 代倫理委員会委員長 富澤幸一）

【同僚今井技術士との思い出】

こんなにも早く別れが来るとは正直とても信じられないというのが、今の偽らざる気持ちです。つい先日先輩の葬儀で今も元気で仕事をしていると会話したばかりで、突然の訃報に驚愕でした。彼とは大学・会社ともに同期入社という縁で若き日の彼の思い出を記したいと思います。入社数年間、毎日のように石狩川水系の築堤を確保するため施工管理で飛び回っていました。一人で複数河川を受け持ち現場から現場へと走り、地盤調査とモデル化した解析断面データを自らパンチカードに打ち込み、大型電算機に入力し翌朝解析結果を検討し、そしてまた、安定解析及び対策工の検討をするという、毎日がこの繰り返しに追われていました。危険個所に動態観測用の地すべり計をセットし施工管理をしていました。春に業務を受注してから施工が完了する秋までほぼ毎日、時には土・日も出張し、現場終了後は一連のとりまとめ報告書作成と、1年間向き合っていました。良く現場に同行した折には運転手はいつも今井さんで運転が好きで愛車スタンザ(新車)をどんなに疲れていても笑顔で運転してくれました。兎に角タフで誠実に仕事に向き合っていた姿を忘れません。いつしか総務部管理部門に移動し、ついには人事部長の要職につき社内調整で走り回っていました。技術屋から管理部門に行かれてかなり苦労したことを記憶しています。しかし技術屋魂は忘れず、会社退職後は技術屋として死の床にある最後まで全うした信念には敬服します。思い出は、夏は社内野球で新調のユニフォームで颯爽とプレーしていた姿や円山球場の抽選に当選した時には大喜びだったこと、海水浴、観楓会、冬はスキーにとよく遊びました。特筆すべきは仕事の節目に皆で飲んだ後カラオケで今井さんは良くいろんな曲を歌っていた！お別れに青春時代(森田公一とトップギャラン)の歌詞を添えて、ご冥福をお祈りします。

(まもなくそちらに行くのでまた歌おう！)

青春時代が夢なんて／後からほのぼの思うもの
青春時代の真ん中は／いつも迷っているばかり

(記：本間公康技術士)

【大志を抱く 覚悟】

日本技術士会北海道本部 倫理委員会は、2008 年準備会および 2009 年研究会を経て、2013 年に発足し 10 年余を超える事になりました。この間、今井相談役を始めとする先達のご指導より、「技術者倫理に関する諸問題を研究し、北海道で活躍している技術者に対して技術者倫理の啓蒙・普及を図る事」を主たる目的に、倫理フォーラム開催など現在全委員 32 名は鋭意活動を実施してまいりました。

そして愈々、10 年ぶりに日本技術士会 全国大会が 2024 年に北海道 札幌で開催されます(下図)。

大会テーマ
共創の大地・
北海道から始まる
技術士の挑戦
〜ミライの豊かさを実現するために〜

第50回 技術士全国大会
(札幌・北海道)

2024
会期 10/4(金) - 10/7(月) 会場 札幌パークホテル
札幌市中央区南 10 条西 3 丁目 1-1

主催：公益社団法人 日本技術士会
事理：公益社団法人 日本技術士会北海道本部 第 50 回技術士全国大会(札幌・北海道)実行委員会
後援(予期)：文部科学省 ほか

公益社団法人 日本技術士会
The Institute of Professional Engineers, Japan

我々 倫理委員会は、10/5 に第 1 分科会：技術者倫理「テーマ：技術者よ、大志を抱け ～過去から現在そして未来へ～」を単独で開催致します。全国から多くの関係者が集結した討議がされます。

これまでの今井相談役のご教導の成果を発揮すべく、大志を持って全委員一丸で取り組む覚悟です。

合 掌

(倫理委員会 全委員 一同より)

以下の文章は「第1期 倫理研究会 活動報告書(2008年(H20)6月～2013年(H25)3月)」に掲載された今井さんの「感想文」です。謹んで掲載いたします。

倫理研究会での活動を振り返って

倫理研究会 今井 淳一

倫理研究会への参画は、能登副支部長(現、副本部長)が提唱され開催した2008年6月25日の倫理研究会第1回準備会からでした。

その時のメンバーは記録では11名の参加でした(能登、花田、今井、中村、田中、大谷、日下部、飯野、斉藤、佐々木、橋本)。また、本会の目的と効果としては「(社)日本技術士会北海道支部・北海道技術士センター等の会員で、技術者倫理に関する諸問題を研究し、北海道で活動している技術者に対して、技術者倫理の啓蒙・普及を図ることを目的としている。それとともに、研究会を通して部会員の広範な技術習得を期待するものである。」であり、活動記録は「コンサルタンツ北海道」への活動内容の掲載を行うものと議事録に記録されております。

その後、2009年4月から研究会として承認され、翌年の2010年3月5日にはきょうさいサロンで「第1回技術者倫理フォーラム」を開催し、その後研究会としての活動を深化し現在に至っています。しかし、このような中であって自分が「技術者倫理」について、どれほど習得・身につけてきたのか全く自信が無いのが実情です。たしかに定例会での資料作成や討議の中で色々な意見を自分も述べていますが、その根拠は、結局自分のこれまでの体験や経験から得たものを尺度にしているような気がしています。何時も反省と勉強不足を痛感して早5年がたとうとしています。

しかし、定例会や幹事会でメンバーとの意見交換や、定例会後の情報交換を含め、日常の業務(実務)とは別な視点で色々な人と交流が出来、かつ、学習する機会としてこの研究会の参加が習慣となっている(やむを得ず欠席することが勿体なく感じる)のが今一番感じていることでもあります。

技術者倫理とは、その場面により非常に多岐にわたり、その判断や対応(ベストプラクティス)も状況により色々と選択肢が錯綜する命題のような気がします。その中であって、この研究会に最初から参画したことは自分の技術者としての人生で「良かったことの一つ」としてこれからも活動していきたいと思っているのが今の感想です。

以上

* 倫理委員会委員一同、謹んで今井さんのご冥福を祈ると同時に、鋭意研究活動を継続していく考えです。
今後とも、皆様のご指導のほどよろしくお願い致します。



第8回技術者倫理フォーラム(2017年7月7日)懇親会での記念写真
最前列左から3人目が今井氏